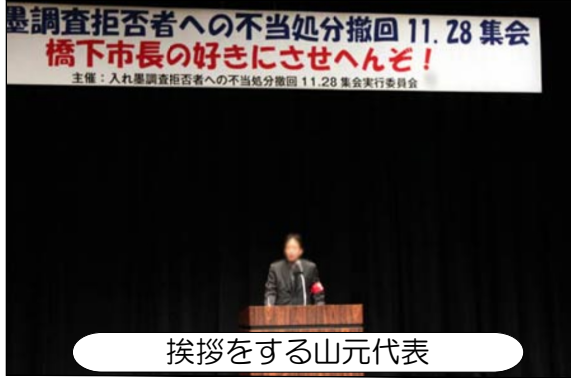


# 橋下市長の好きにはさせへんぞ！ 入れ墨調査拒否者への不当処分撤回十一・二八集会

十一月二十八日、「橋下市長の好きにはさせへんぞ！入れ墨調査拒否者への不当処分撤回十一・二八集会」がエル大阪で行われました。二〇一二年五月二日に橋下市長は全



挨拶をする山元代表

大阪市職員に入れ墨調査アンケートを行いました。それに拒否をした六名の職員に対して「懲戒処分」を発令しました。六名は橋下市長と闘うために立ち上がりました。

まず始めに実行委員会を代表して「懲戒処分を許さない南大阪の会」山元代表より挨拶を行い、「民間労働者の非正規職が増えるから公務員の賃金は高いように思われている」「低い人達の賃金を上げないで、高い人達の賃金を下げているのだ」と述べられました。

次に「南大阪の会」中村事務局長から決意と基調報告がありました。「六名の職員達が頑張っているのを大阪の運動として最後まで支えて行こう」と述べられました。基調報告を全員の拍手で確認しました。

次に大阪労働者弁護団の藤原弁護士からは「橋下市長は公務員組合を弱体化、無力化し自分の兵隊にしようとしている」と述べられました。二〇一三年から訴訟や、労働委員会での結果は勝訴や、救済命令、組合に対して

謝罪と圧勝で橋下市長のやってきたことは間違いだらけなのだとわかりました。

次に落語家の笑福亭竹林さんによる漫談がありました。始めに「ふりかけが大好きなのですが、橋下が給食にふりかけぐらいかけてええやろうと言って、私はふりかけやめようとなりました」と話され、会場全体が笑い、和やかになりました。竹林さんが橋下はあかんと思ったのは、橋下が「子供はしょせん恐怖心しかコントロールできない」と言ったのでアカンと思っただそうです。漫談の最後には「来年の市長選挙に

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

は新しいリーダーを迎え  
ましよう」と述べて終わ  
りました。

次に、被処分者の六名  
が登壇しました。

大阪市職建設局のAさ  
んは「民営化反対、評価  
制度反対、労働組合がき  
ちんとした立場をとれば  
現状を変えられる」と力  
強く述べられました。

大阪市職西区役所支部  
のTさんは「この二年、  
処分を受けたことで皆さ  
んの意見を聞いて充実し  
た生活を送れている」  
「この処分を撤回するま  
で充実して、闘いぬく」  
と決意を述べられました。  
大阪市職淀川区役所の  
Tさんは「職場の違う六

名が残って、このような  
大ホールでやれているの  
がすごい」と驚かれてい  
ました。

大阪市職建設局のYさ  
んからは「四〇年間下水  
処理場で誇りをもってやっ  
てきたのに、橋下市長は  
下水処理場を民営化しよ  
うとしている」「橋下市  
長の言うことは聞かれへ  
んと思つて、アンケート  
を拒否しようと思つた」  
と述べられました。

十三市民病院のMさん  
からは「なぜアンケート  
調査に拒否をしたのかと  
言つと、自分の看護師と  
して培ってきた患者さん  
への思いに反する」「入  
れ墨が入っているからと

いつて怖い人と決めつけ  
るのも良くない」「六人  
が力を合わせやっている  
ことで、このような集會  
が橋下市長に対する反撃  
の観点となつている」と  
力強く述べられました。

大阪市交通局自動車部  
のYさんからは「なぜ私  
が闘うのか、所属する労  
働組合が闘う事を諦めて  
いたから。なので代わり  
に私が闘わなければ」と  
思い決意を述べられまし  
た。Yさん入れ墨調査裁  
判判決は十二月十七日十  
三時一〇分に大阪地裁八  
〇九号法廷です。

次に参加団体から連帯  
挨拶がありました。  
大阪市営交通を守り弁

展させる会のM事務局長  
からは「バスは黒字と言  
われていますがバスを二  
〇〇台減らし走行費を二  
五%減らし、一日約一万  
三千人の乗客に影響が及  
んだ」これが民営化に向  
けた動きかと思ひました。  
「春の統一地方選挙で維  
新を叩き下ろしましょう。





来年の十一月の知事市長選挙では橋下を大阪から追い出しましょう」と力強く述べられました。

日の丸君が代の被処分

者のNさんは「君が代不起立処分や入れ墨処分など、橋下が就任以来やってきたことは労働者の団結破壊、労働組合破壊な

のだ」と述べられました。

「君が代」

不起立処分大阪府人事委員会不服申し立て当該のグループAZAからは「愛国心教育に黙っていられない、日の丸、君が代を子供た

ちに強制しているのは間違っている」「再び子供たちを戦場に送らない」と述べられました。

全日建連帯労組関西西地

区生コン支部の武洋一書記長からは「私は橋下にお礼を言いたい、なぜか

と言いますと、闘いの裾野が広がったから」「処分を受けてる皆さんと連帯をし共に頑張りましょう」と述べられました。

閉会の挨拶は「橋下市長による入れ墨調査拒否者への不当処分撤回を求めると共同代表の山川

義保さん。「公務員労働者が命令だけで動いてしまえば、市民の為の仕事

ができない」「十二月十

七日の安田さん裁判は絶対

に勝たなければならぬ」と決意が述べられました。

最後に山元委員長より

「橋下維新を打倒し、すべての処分者が団結して

がんばろう」と団結ガン

バローで終わりました。

集会に参加して、橋下市長のやってきた事は、

組合に対する攻撃なのだと思います。しかし、

どんな攻撃も組合が闘えば跳ね返せると思いましたが。私も団結をしていこうと思いました。

編集委員 N